

# 憲法発見!!

あいのままの自分じゃダメですか...

『すべて国民は、個人として尊重される。

生命・自由及び幸福追求に対する国民の権

利については、公共の福祉に反しないかぎ

り立法その他の国政の上で、最大の尊重を

必要とする。』 憲法第13条



\*茶髪のボクじゃダメですか?  
\*学校へ行かない私じゃダメですか?  
\*残業しないオレじゃダメですか?  
\*年寄りが夢をもってはダメですか?

時/5月3日(憲法記念日)

午後1:30~4:00

所/大垣市中川ふれあいセンター

入場/無料(駐車場あり)

主催/平和・人権・民主主義を考える西濃憲法集会'98実行委員会

問い合わせ/西濃法律事務所 0584-81-5105

公演 \* 和太鼓 はぐるま \*

平和・人権・民主主義を考える 西濃憲法集会

## 和太鼓『はぐるま』とともに・・・

平和・人権・民主主義を考える西濃憲法集会98

少年犯罪が低年齢化し、『キレ』た少年たちおとなたちの動揺が広がっている。

しかし、『キレ』るのは子どもだけではない。おとなも同じこと。

キレるのがあたり前。キレて当然。世の中怒っていいことがたくさんあるのだから。

学校で、家庭で、職場で・・・

でも本当は何に怒っていいのかわからない。

誰に文句を言えばいいのかわからない。

それが無軌道な『キレかた』になるのではないだろうか。キレることも必要。でも誰のために、何のために、どうキレたらいいか。

自分をもう一度見つめてみよう。自分らしく生きるために。社会をもう一度見つめてみよう。人間らしく生きるために。

『すべて国民は、個人として尊重される。

生命・自由及び幸福追求に対する国民の権

利については、公共の福祉に反しないかぎ

り立法その他の国政の上で、最大の尊重を

必要とする。』 憲法第13条

### ■和太鼓はぐるま■

1977(昭和52)年福井県武生市で誕生。

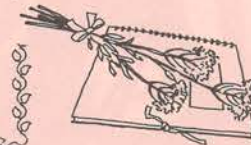
「はぐるまの家」で育った、それぞれの境遇に苦しみをもち、それを克服し、哀しみや怒りなど様々な感情を太鼓に打ち込む若者たち。

プロとして活躍するかたわら、スイスのエイズ患者施設や岐阜県笠松女囚刑務所への慰問、阪神大震災チャリティ活動も。

#### ◆主な曲紹介◆

少年達が見ることの叶わなかった夢を追いつけて連打する「イリュージョン(幻影)」

施設に育った少年達が困難を乗り越えて社会人としての出発を許された喜びを表現した「戦日からの夜明け」、バイク事故で死亡した仲間の少年へのレクイエム「波動」、世界中の子どもたちへの願いをこめた「シャイン」他



## テーマ『憲法発見! ありのままの自分じゃダメですか?』

個人の尊厳、人間の尊厳とはを問いなおす“憲法を考える集い”です。

学校で・・・成績で差別的なあつかいをされて、キレたことはありませんか。

職場で・・・サービス残業を拒否したら、上司や仲間に白い目で見られ、キレたことはありませんか。

地域で・・・年をとって歩くことができない。友人に会ったり、旅行に行きたいが年寄りをはがまんしろと言われ、キレたことはありませんか。

ちょっと人と違ったことをしたら、何か居心地が悪いと思ったこと、あなたも感じたことがあるのでは。障害を持っていても、学校へ行かなくても、女性でも、年をとっていても、茶髪でも、外国人でも、お金があってもなくても、みんなが『そのままの自分』『ありのままの自分』で、人間らしく生きられたら。

——参加者自身が主人公の憲法集会です。

### 第1部◆それぞれの『憲法発見!』

——様々な立場からの『こんなぼくじゃダメですか?』レポート&トーク——

### 第2部◆和太鼓『はぐるま』ライブコンサート

ロックのはげしさを持った、彼らの全く新しい和太鼓の演奏は、彼らの流した涙と自分たちを拒絶した大人社会への激しい怒りと同時に、困難を自らの力で克服し、社会復帰した彼らの喜びをも表現しています。

